

講義名	流通・マーケティング特殊研究B			授業形態	
担当教員	秦 洋二	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 1時限		
		単位数	履修開始年次	ナンバリング	
主題と概要					
<p>流通論、マーケティング分野における博士論文を完成させることが当演習の目的となります。学生は自分の関心に基づき、研究テーマを決定します。研究の初期段階では、自身が研究しようとしている分野の文献を渉猟し、当該分野における研究史を併せ、自分の研究をその中に位置付ける必要があります。さらに、研究仮説の提示とそれを証明するための方法論を考へ、調査計画を作成し、実際に調査を行います。得られたデータをもとに、議論を行い、博士論文の完成を目指します。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 自身の研究分野についての専門的な知見に基づき、論理的思考力を獲得する 自身の研究を深め、エビデンスに基づいた主張を論文や学会発表等で展開することができる 					
提出課題					
授業内レポートと期末レポート					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
授業中に適宜指示します。					
評価の基準					
授業内レポート 50% 期末レポート 50%					
履修にあたっての注意・助言他					
積極的にディスカッションに参加してください。					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					
.なし。					

その他	
参考図書は受講者の専門に合わせて適宜指示します。	
授業計画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 研究報告・ディスカッション 3. 研究報告・ディスカッション 4. 研究報告・ディスカッション 5. 研究報告・ディスカッション 6. 研究報告・ディスカッション 7. 研究報告・ディスカッション 8. 研究報告・ディスカッション 9. 研究報告・ディスカッション 10. 研究報告・ディスカッション 11. 研究報告・ディスカッション 12. 研究報告・ディスカッション 13. 研究報告・ディスカッション 14. 研究報告・ディスカッション 15. 研究報告・ディスカッション 	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間	
【予習】必要な文献の渉猟、読書 2時間 【復習】ディスカッション内容の復習と文献サーベイ 2時間	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
本講義の到達目標は、本学ディプロマポリシー「マーケティング動向、流通業界及び関連業界の動向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これをもとに、マーケティング、ブランド戦略、小売業界、流通に関する問題探索、課題提案ができる」に関連する。	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
本講義は原則対面で実施しますが、通学困難者向けに別途オンライン授業を行います。オンライン授業は動画配信によって実施します。授業動画のURL、配信資料等、必要な連絡はRyukaポータル上の「講義連絡」で行います。	
実務経験の有無及び活用	
備考	